



# 千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

98.6.10 No. 4799

## 沖縄派遣団報告 ④

### 現地の子供からもらった

### 水が美味かった!

動労千葉派遣団九名の一員として、五月十六日から十八日の三日間の沖縄現地闘争に参加してきました。

一日目の夜は、反戦地主会・一坪反戦地主会主催の韓国―沖縄を結ぶ集まりに参加しました。

韓国からの闘争報告を聞きましたが、沖縄の基地問題とまったく同じである。日本(沖縄)だけでなく外国でも米軍の犯罪や基地をなくす運動が行なわれている。この運動に私たちも共闘してたたかわなければならぬと思いました。

二日目は、今回の沖縄現地闘争のメインである普天間基地を「人間のくさり」で包囲するたまたかに参加しました。

基地包囲行動では、現地の人と本土から来た人たちが、手と手を取り合って「人間のくさり」で普天間基地を三回にわたって包囲し、怒りのシュプレヒコールをあげてたたかいました。

三日目は、代表者が辺野古で開かれた交流会に参加しました。

三日間の沖縄現地闘争に参加し、普天間基地包囲行動のなかで思うことは、去年の普天間中学での集会に参加した人たちに、現地の子供たちが水をくばってくれたこと、この一杯の水がうまかったこと。こうしたたたかいに子供たち自身が、

千葉転支部 椿 裕明

自分たちの未来のために親と一緒にたたかっていることです。

このたたかいで、一日も早く沖縄から基地をなくし、勝利するまでこれからも沖縄の仲間と共に、たたかいていきたいと思えます。最後に多大なカンパありがとうございました。



「人間のくさり」で普天間基地を包囲したぞ!



## 戦争のための新基地 建設絶対阻止!

新小岩支部 国分 重晴

私は、二年連続で沖縄現地闘争に参加しましたが、昨年は那覇空港に着いて表に出たたん、日差しが肌に突き刺さるような暑さを感じ、集会とデモの繰り返しで、一日終わるとグッタリしましたが、今年は、暑さに苦しむことはありませんでした。

二日目の普天間基地包囲闘争では、三回の「人間のくさり」で基地を包囲し、基地撤去へと怒りのシュプレヒコールで参加者二万六千人の心が一つになった気がします。夜には動労千葉・家族会九人で「島唄」という店にいったとき、生バンド「沖縄を返せ」という唄を歌いだすと、従業員が仕事の手を休め、手拍子をはじめたのを見て、沖縄の人たちは、基地撤去の闘争は生活の一部になっているんだと改めて感じました。それが昨年十二月二十一日の名護市民投票にあらわれているんだと。普天間基地を返すかわりに海上へり基地を造らせろなどと、ふざけたことを、普天間基地は当然返してもらうが、新しく戦争のための基地を造る事は絶対阻止しなければなりません。

私たちは、動員で集会に参加しても、家に帰れば酒飲んで遊ぶことばかり考えず、沖縄現地闘争に参加してみてください。元氣になります。



最後に、全支部のみなさんのカンいい経験と勉強をさせていただきます。ありがとうございました。

